

製品安全データシート



JUNSEI

1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号 03-3270-5426 FAX 番号 03-3270-5418
担当部門 試薬部 担当者 菅野英奇
住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1 -6
緊急連絡電話番号 0489-86-6161 FAX 番号 0489-89-2787
作成日 2000年10月6日
整理番号 70080
製品名 (一級) マラカイトグリーンしゅう酸塩 Malachite green oxalate

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名: マラカイトグリーンしゅう酸塩
化学式: C₅H₅N₄O₁₂
CAS No: 2437-29-8(シュウ酸塩)
含有量: 98.0%
化審法:(5)-2033
安衛法: 公表

3, 危険有害性の要約

分類の名称

1. 急性毒性物質。

有害性

吸入した場合...

1. 有害である。

皮膚に触れた場合...

1. 皮膚からの吸収は有害である。
2. 皮膚を刺激する(かぶれる、ただれる、発赤する)

眼に入った場合...

1. 有害である。
2. 眼を刺激する。

飲み込んだ場合...

1. 有害である。

燃焼生成ガス...

1. 一酸化炭素。
2. 二酸化炭素。
3. 窒素酸化物。

4, 応急措置

眼に入った場合

1. 汚染した衣服や靴を脱がせる。
2. 大量の水で最低 15 分間洗浄する。
3. 医師を呼ぶ。
4. 汚染した衣服は洗って再使用する。

皮膚に付着した場合

1. 汚染した衣服や靴を脱がせる。
2. 大量の水で最低 15 分間洗浄する。
3. 医師を呼ぶ。
4. 汚染した衣服は洗って再使用する。

吸入した場合

1. 新鮮な空気にあてる。
2. 呼吸停止の場合は、人工呼吸を行う。
3. 呼吸困難の場合は、酸素吸入を行う。
4. 医師を呼ぶ。
5. 経気道的に中毒を起こした場合：速やかに新鮮な空気のあるところへつれて行き、深呼吸をさせる。

飲み込んだ場合

1. 水で口をすすぎ、医師を呼ぶ。
2. 汚染した衣服は洗って再使用する。

5, 火災時の措置

消火剤

1. 二酸化炭素。
2. 粉末。
3. 水噴霧。

6, 漏出時の措置

1. 自給式呼吸器、ゴム長靴および厚手ゴム手袋を着用する。
2. 掃き集め、袋に入れ、廃棄にそなえて保管する。
3. 飛散するダスト(粉立ち)を避ける。
4. 当該物質を完全に移した後、漏出区域を換気し、洗う

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 有毒。
2. 眼を刺激する。
3. 皮膚を刺激する。
4. 粉塵または蒸気の吸入を避ける。
5. 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。
6. 長時間または反復の曝露を避ける。
7. 取扱後に十分に洗浄する。

保管

1. 完全密封。
2. 冷乾所に保管。

8, 暴露防止及び保護措置

設備対策

貯蔵上の注意...

1. 完全密封。
2. 冷乾所に保管。

保護具

1. 呼吸用保護具。
2. 保護手袋。
3. 安全ゴーグル。
4. 保護衣。
5. ケミカルドラフト内でのみ取扱う。
6. 安全シャワー。
7. 洗眼器。

9, 物理的及び化学的性質

溶解度

水、エタノールに易溶。

10, 安定性及び反応性

混触等...

危険性無

1. 強酸化剤との混触不可。

11, 有害性情報

皮膚に触れた場合...

1. 皮膚からの吸収は有害である。
2. 皮膚を刺激する(かぶれる、ただれる、発赤する)

眼に入った場合...

1. 有害である。
2. 眼を刺激する。

吸入した場合...

1. 有害である。

飲み込んだ場合...

1. 有害である。

刺激性

ラビット 76 mg / kg ; SEVERE(眼)

急性毒性(RTECS)

経口毒性...

マウス	LD50	50 mg / kg
ラット	LD50	275 mg / kg

12, 環境影響情報

該当情報なし

13, 廃棄上の注意

1. 可燃性溶剤に溶解または混合し、アフタバーナーおよびスクラッパー付きインシナレーターの

中で焼却。

14, 輸送上の注意

該当情報なし

15, 適用法令

毒物及び劇物取締法: 第2条別表第2劇物(蓚酸塩類及び製剤、ただし蓚酸として10%以下を含有するものを除く)

EINECS: 2194417

16, その他の情報

参考文献

化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。